



実践事例の紹介

「授業改善に向けた校内研修の工夫」

津山市立鶴山小学校では、第2号でお伝えしたつまずき解消の取組に加え、育みたい資質・能力を確実に身に付けさせるため、授業づくりに重きを置いた校内研修を実施しています。

津山市立鶴山小学校：学校教育目標「学習・生活集団力を高め、学び認め合う心豊かな子どもの育成」

学力向上に向けた主な取組

※ 以下は、鶴山小学校における聞き取り及び令和3年度学校経営計画を基に抜粋して作成。

現 状

学力の2極化
家庭の教育力の低下

手 立 て

- ① 年間計画を基にした検証改善サイクル
- ② 放課後補充学習(PUT)
- ③ 授業改善に向けた校内研修の取組
- ④ 教科担任制の導入

目 標

確かな学力



ポイント

©岡山県「うらっち」

- 教科を超えて同一視点 で実施される研究
- 授業づくりに重点 を置いた研修計画

全員が全ての授業で目指す子どもの姿

- ★ 友達の意見に「付け足し」「補足」ができる。
- ★ 出された解を「問い直し」みんなで理解を深めることができる。

授業における手立て

第2回 (6/28)	第6学年 算数科 採用6年目(本校1年目) ・補いや付け足しを引き出すため、あえて誤答や行き詰った考えを取り上げる。
第3回 (10/26)	第5学年 国語科 採用2年目(本校2年目) ・自他の考えに付け足しができるよう、自力解決後は、離席を認めより多くの交流を行う。
第4回 (12/1)	第1学年 体育科 採用4年目(本校4年目) ・評価し合ったり自分の動きに付け足したりできるよう、1回目の試技後に良い姿を共有する場を設ける。

授業改善に向けた研修計画

第1回(5/20) 講義・演習 ○学び認め合う子の具体的な姿を描こう ○目指す子どもの姿の共有	算数科指導案検討
研究授業 : 研究協議	国語科指導案検討
研究授業 : 研究協議	体育科指導案検討
研究授業 : 研究協議	研究成果のまとめ

※ 全教職員が、国語部会、算数部会、その他部会のいずれかに属しています。

チェック

指導案検討の段階から、授業者と部会員が外部講師の助言を受けています。助言を生かすために、研究授業まで複数回、部会を開催したり、指導教諭から指導・助言を受けたりして、指導案を作成します。

その結果、多くの教員が自分事として研究授業や協議に臨むとともに、目指す子ども像の実現に向けた取組を検証することにつながっています。

前時の振り返りを生かした導入を心掛けるなど、児童の意欲を引き出す工夫を考えることが増えました。ノートの記述について、一律にする部分と児童に判断させる部分を分けるようになりました。



国語科

授業者の感想



指導教諭から

授業者は、研究授業を通して意欲的に教材研究に取り組んだり、教材への理解が深まったりしている様子が見られます。

授業者が所属する部会や学年部のメンバーも、本時のねらいに迫るために児童の誤答を生かすなど対応の幅が広がり、周囲への良い影響も見られます。